

『人類と人形の旅』 human with puppet

特定非営利活動法人愛知人形劇センターと損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、あいちトリエンナーレ2016開催期間中、『人類と人形の旅』human with puppetと題した並行企画事業を、損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホールにおいて開催いたします。

愛知人形劇センターは、1989年より損保ジャパン日本興亜株式会社と協働で、全国唯一の民間による人形劇場「ひまわりホール」を運営してきました。その間、海外劇団も含めた優れた人形劇の上演活動や、人形劇人の人材育成事業に継続して取り組み、2001年にはメセナ大賞(ひまわりホール)、2008年には名古屋市民芸術祭審査員特別賞、2014年にはパチンコ大衆文化賞(育成団体のオブジェクトパフォーマンスシアター)を受賞しました。また、障がい者のための人形劇や東日本大震災支援の巡回活動、環境運動など、社会貢献活動にも取り組んできました。



オブジェクトパフォーマンスシアター

これらの歴史と成果を踏まえ、この度開催されるあいちトリエンナーレ2016のコンセプト、「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」に賛同し、並行企画事業として『人類と人形の旅』を開催します。

ひまわりホールは、あいちトリエンナーレ2016メイン会場である愛知芸術文化センターと長者町エリアの中間点にあり、損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1Fには、あいちトリエンナーレ2016の展示会場が開設されます。

『人類と人形の旅』では、あいちトリエンナーレ2016会期中、海外・国内からご来場の皆様、私たちが掲げる『人類と人形の旅』のコンセプトに沿って今日の我が国で最高水準の人形劇を、そして人形劇の新しい実験をご覧ください。

ご期待ください。

『人類と人形の旅』human with puppet 8月11日(木・祝)～10月23日(日)

プログラム

- 記念公演 文楽オペラ「睦月連理玉椿～おさん伊八恋の道行き」
- 愛知×いいだ共同製作『シェイクスピアが笑う夜～リア王から』
- 人形劇団むすび座(愛知県)『父と暮せば』
- ひと組(愛知県)『時代横町 其の十六』
- オブジェクトパフォーマンスシアター(愛知県)『薄暮夢～乱歩短編集より』
- ペビービー(京都府)『マクベス』
- genre:Gray(東京都)『顔のモノ語り』
- 人形劇団クレドシアター(ブルガリア)『外套』
- ひまわりホール子どもアートフェスティバル
- 星の女子さん(愛知県)『わらの骨』
- banko(P新人賞2013受賞劇団/神奈川県)『月がきこえる』
- 人形劇団望ノ社(P新人賞2015受賞劇団/栃木県)



星の女子さん



人形劇団クレドシアター



ひと組



genre:Gray



人形劇団望ノ社(栃木県)『DEBRIS』

P新人賞2015 結果報告と総評

2016年2月14日に損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホールで、文化庁委託事業「平成27年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」としてP新人賞最終選考上演会が開かれた。第1次選考を通過した3団体の作品が上演され、先に観客投票により観客賞が決められたのち、演劇評論家の安住蓼子氏、世界ウニマ評議員の杉田信博氏、人形演劇企画室βの玉木暢子氏と私の4人が公開で最終選考をしP新人賞を決定した。

最初に上演した人形劇団サバラ(石川県)の『忘れっぽい天使』は、昨年のひまわりホール子どもアートフェスティバル2015でも上演されたが、キャストを替え、演出にも工夫を加えて上演。主人公ひかりを人形と人間の役者で演じ、肉体と精神、現実と妄想などの二重世界を描いていく。金沢美術工芸大学出身の学生らしい美意識と造型。特に人形の操作方法が独特。ただ全体的に雰囲気の流れ、その世界観が十分に観客に伝わっていなかったのが惜まれる。脚本を整理し、構成、人形と役者の二重性を見直していけばさらに良い作品になると思う。

次の人形劇団くりきんとん(大阪府)の『モーリーの見つけもの』は、代表のCHIKAKOが観客の前でキーボードを弾き、歌い、語り、ストーリーを展開し、他の役者がケコミに入り人形を動かすという、1人ミュージカルスタイルの人形劇。カラフルかつ個性的な美術、的確な人形操作、元気でスピード感ある上演は観客の目を強く引きつけていた。完成されたスタイルなのだが、それ故にこの先の展開が見えない、アンサンブルとしての面白さがまだ出せるのではないかと。脚本も直線的で、工夫が欲しい。

最後の人形劇団望ノ社(栃木県)の『DEBRIS』は、スクリーンの観客席側に光源を持ってきて、2人が操作、1人がテキストを読むというまだ日本ではあまり見ることのないスタイルの影絵。どのように光源や影



人形劇団サバラ(石川県)『忘れっぽい天使』



人形劇団くりきんとん(大阪府)『モーリーの見つけもの』

絵人形を操作しているかが観客席からも見え、それが気になるという声もあった。2011年の東日本大震災で津波にさらわれ「DEBRIS(漂流物)」になってしまったバスケットボール、バイク、インダイを主人公に、平穏だった日々、津波の瞬間、それからの時間を描く。震災をどう扱うか、視点の偏りや物語としての作り込みの甘さが選考委員から指摘された。しかし、複数の光源を使い映像を重ねたり、非常に緻密でカラフルな映像は、それだけで強い説得力を持つものであった。

選考委員の投票によって、P新人賞には表現の美しさと演目としての完成度の高かった人形劇団望ノ社の『DEBRIS』が選ばれた。また観客賞は、楽しさと解り易さ、圧倒的なパワーを持った人形劇団くりきんとんの『モーリーの見つけもの』が受賞した。今回でこの賞も5回目を迎えるわけであるが、例年にもまして僅差でレベルの高いものであったと思う。

人形劇団望ノ社には賞金20万円が贈られた。2016年度に開催される『あいちトリエンナーレ2016並行企画事業』human with puppet』では新作の公演をしていただく予定だ。



最終選考上演会の様子

REPORT 『シェイクスピアが笑う夜～リア王から』 初演を終えて

シェイクスピアの四代悲劇のひとつ『リア王』を、子どもから楽しめる人形劇にする…。創作を始めてから、これがいかにハードルの高い難問であるか、そしてやりがいのあることかを思い知った。「子ども向け」って何？ 人形劇とは？ そしてこの『シェイクスピアが笑う夜』で表現したいことは…。演出、役者、美術家、プロデューサー、演出助手など含めてさんざん議論。飯田と名古屋、距離を隔てた創作だったため稽古時間はかなりタイトだったが、全員が一つの目標に向かって創作していくためにかなりの時間を割いた。そしてたどり着いた私たちの『リア王』とは「人間は、正論や表側だけが全てではない。笑顔の向こう側に悲しみはある。悲しむ人に寄り添おう」。

娘たちの裏切り、老いへの恐怖、絶望から本当の優しさに目覚めていくリア王。本音と建て前を駆使し権力と財産に貪欲な姉妹。見せかけの王への忠誠、兄へのコンプレックスから謀略をめぐる騎士。そして、父に追放されてもお父への愛情を失わなかった末娘。王の死の瞬間まで、傍で王を守った忠臣。彼らは激動する世界の中であらゆる感情を表出させる。それは美しくもあり醜くもあるが、すべて人間の本当の姿。悲劇も絶望もときに笑えてしまうほど滑稽だし、笑顔ほど悲しいものはない時もある。

私たちはこの言葉にならないような人間の姿を、子どもたちの前に晒そうと考えた。「理解できる」ではなく「感じられる」ものを創ろう。だからこそ、今回この作品には人形劇という手法は必要だった。人形と役者の関係によって人間の多面性を表現し、物語の展開をスピーディに、わかりやすくする演出で、あの大作『リア王』を、子どもから楽しめる、

脚色・演出：ニノキノコスター



愛知人形劇センターPresents 愛知人形劇センター・いいた人形劇センター共同製作『シェイクスピアが笑う夜』(原作：シェイクスピア、脚色・演出：ニノキノコスター) 2016年3月26日・27日、損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホールにて公演

約1時間の作品にするという大技を、構成・演出のニノキノコスターはやったのけた。

『シェイクスピアが笑う夜～リア王から』は、決して絶望で終わる物語ではない。観ていただいた観客のみなさまに、「暗闇で光る希望」が届いてほしい。

「他人もまた同じ悲しみを持つと知れば、心の傷は癒えなくとも、少しは和らぐものだ…」
ウィリアム・シェイクスピア

Puppet Theaterゆめみトランク ゆみだてさここ

P新人賞 2016 募集!

好評のP新人賞、今年も開催します。
多くの皆様のご応募お待ちしております！
賞金：20万円

第一次締切：2016年9月15日
公開選考上演会：2017年2月25日(土)
26日(日)

※詳細は、愛知人形劇センターまでお問合せください。

特定非営利活動法人 愛知人形劇センター 通常総会のご案内

定款第24条に基づき、以下の日程にて2016年度通常総会を開催致します。
日時：2016年5月15日(日) 14:00～
会場：損保ジャパン日本興亜ビル19F
人形劇場ひまわりホール

※詳細は、愛知人形劇センターまでお問合せください。



P新人賞2015 最終選考上演会より